

メールマガジン 2022年10月

主の聖名を賛美いたします。

ドイツでは日ごとに秋が深まり、紅葉の美しい季節となりました。木々の葉の色が、紅色というよりもむしろ錦のように黄金色に輝いています。その葉っぱは、路上に随分と積もるほどになりました。

9月は夏期休暇を頂いたり、礼拝と水曜日の聖書の学び以外、他の集会等は開店休業状態でした。学校が二週間の秋休みとなり、子どもたちの家族は旅行にでかけたり、先月洗礼を受けられたスイス在住の方は、日本へ一時国、ブリュッセル教会の大学生の姉妹も休暇等で不在のためでした。

そのような状況下で、私はこれまで経験したことがない腰痛に見舞われて歩くことさえ辛い時がありました。お友だちから腰痛改善体操のYouTubeサイトが送られてきて、実践始めた頃からポチポチ改善されていきました。それと同じ頃に、皆さんも戻ってこられて、また通常の学び会が始まりました。

久しぶりにこれまでの生活パターンが戻ってきて、信仰を持ち始めたばかりの方々と聖書の御言葉を一緒に学び、神さまのことを一緒に思い、様々なことを一緒に考えている内に、心から湧き上がる喜びを見出すことができ、私はまるで水を得た魚のようにになりました。

実のところ、腰痛に悩まされる直前の私の心はすっかりと萎えていたのです。昨年に続き、今年もまた、ママの会で中心となっていたAさん一家が八月に日本へ本帰国されました。更に追い打ちをかけるように来年一月早々には、教会の若いご夫妻が本帰国されます。「神さま、どんなに一生懸命種蒔きしても、みんな散らばっていきではありませんか。数え切れないほどの人を見送らないとならないのですか？私はもうそれに耐えられません・・・」と、心がねじ曲がっていました。

しかし、通常の学び会が始まり、「種蒔き」ができること、それが私の喜びで活力であることに気づかされました。あれほど、「どんなに種蒔きしても・・・」と、神さまに訴えていた私ですが、ねじれていた心が一気にほどけたのです。学び会が開店休業状態の際、私は種蒔きに飢え渴いていたのにその自覚がなく、その代わりに身体に痛みが出たのだと分かりました。

すると同時に、三週間近くも歩くのが辛かった腰の痛みが全くなり、つい最近是小走りさえ出来るようになったのです。これが正に神さまの奇跡、「神癒(しんゆ)」だと思いました。種蒔きができなかった時があったからこそ、種蒔きの喜びを知ることができました。そのことがなかったら、心がねじ曲がったまま神さまに文句を言い続けていたかもしれません。腰痛の原因と結果は一目瞭然です。

そのような私の状態を知る由もない、八月に日本へ本帰国されたAさんから突然メールを頂きました。「実は日本に帰国してから、子どもは不登校になり、自分は車をぶつけて散々だったけれど、昔のように、『どうして私ばかりこんな目に遭わないとしないのか』とは、思わなくなりました。ドイツでの聖書の学びに感謝しています。」という内容でした。種蒔きの実が結ばれていることを、神さまはAさんを通して私に示してくださいました。そして、「だからどんな事があっても、ぶてくされずに、ひたすら種蒔きを続けなさい」と、間髪入れずに後押しされている感じがしています。

先日の大学生との学びで、「悔い改め」について語り合いましたが、正にもう一度、私の方が神さまに立ち返る、向き直る機会が与えられました。今はもう心がねじれないように祈っています。その為にもお祈り頂けると励まされます。

日本も恐らく、朝晩、冷え込む時期を迎えているかと思います。体調を崩されませぬようどうぞご自愛くださいますように。皆様の上に主の豊かなお恵みとお支えが更にありますようにお祈り申し上げます。

※来春3月には、三年振りに宣教報告のために1ヵ月間、一時帰国の予定です。限られた時間ですが、ご挨拶にお伺いできればと願っています。よろしかったら私のメールアドレス r310130@gmail.com にご連絡いただけたら幸いです。

ホームページにはドイツの様子がわかる写真も掲載しています。過去のメールマガジンも見やすくなりましたので、是非ご覧ください。

<http://www.komatsugawa-ch.com/Pfarrerin-Ryokosasaki/mailmagazine.html>



近所の黄金色の絨毯
落ち葉を掻きわけて歩く頃となりました。

一方では、クリスマスの花・
アマリリスがちらほら出始めています！

